



2021年10月22日

各位

会社名 株式会社横河ブリッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 高田 和彦
(コード番号 5911 東証第1部)
問合せ先 財務IR室長 中岡 康次
(TEL 03-3453-4116)

業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	70,000	5,600	5,600	4,600	111.49
今回修正予想(B)	61,800	6,100	6,200	4,900	118.76
増減額(B-A)	△8,200	500	600	300	—
増減率(%)	△11.7	8.9	10.7	6.5	—
(ご参考) 前年同期実績 (2021年3月期第2四半期)	68,395	8,292	8,317	5,556	134.22

2. 修正の理由

橋梁事業につきましては、長期大型工事の竣工が集中しました前年同期には及ばないものの、概ね順調に推移しました。一方、システム建築事業につきましては、当第2四半期(2021年7月1日～2021年9月30日)の受注は第1四半期(2021年4月1日～2021年6月30日)の2倍近くとなり、需要環境は確実に好転しておりますが、大型工事の着工ずれ込みなどもあって業績は伸び悩みました。また、土木関連事業の生産量につきましても低迷が続きました。

これらの結果、売上高につきましては、当初予想を下回る見込みとなりました。一方、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、橋梁事業の損益改善が進みましたため、当初予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期業績予想につきましては現在精査中であり、2021年10月27日に予定しております2022年3月期第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

(注) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上